

4. 先行事例（藤崎啓造氏・藤崎貴美枝氏）

会の参加者のうち、すでに活用をはじめた先行事例として、藤崎啓造・貴美枝夫妻の取り組みを紹介する。

こうきサポートブック

平成 17 年 8 月 1 日作成

名 前	〇〇〇〇（〇〇〇〇こうき）
愛 称	こうちゃん
年 齢	8 歳（平成〇年 △月 □日生まれ）
学 校	養護学校〇年生
障害の程度	自閉症：療育手帳□
住 所	〇〇〇〇
連絡先Tel	〇〇-〇〇〇〇 自宅
緊急 TEL	〇〇-〇〇〇〇（母携帯） 〇〇-〇〇〇〇（父携帯）
緊急 TEL がつながらない時	母方祖父母宅〇〇-〇〇〇〇 父方祖父母宅〇〇-〇〇〇〇



全体的な様子

- どちらかというと、おだやかで、崩れても、長く尾を引かない方だと思います。次の見通しがつけば落ち着きます。
- 平和主義。人のものを取り上げたり、ぶつかったりすることはほとんどありません。（但し、油断は禁物。ふざけて「アンパンチ」といいながら他の人をたたくこともあり…）

1. コミュニケーション

（1）言葉

①話す力

- ・ 強い要求がある時には、適切な発語（名詞など1語文）がある。ex.飲みたい時「カルピス・お水」、行きたいとき「プール・水族館」など
- ・ 遅滞性エコラリアによる表現 ex.痛いとき「痛かった、だいじょうぶ」、自分の同じような場面で使われたテレビやビデオでの言いまわしによる表現
- ・ ひとりごとが多い。（テレビなどのせりふ）を言う
- ・ 即時的なエコラリアもあり

近頃のブーム

自分がしたい動作を前もって他の人に言ってもらいたいために、その言葉を使う。

Ex. ○○がドアの前で、「あけて」と言う。他の人が「あけて」と言う。すると本人は納得してドアをあける。(他、飲んで・食べて・しめて(あけてと逆の時もあり) など

②聞く力

- ・ 短い指示はかなり理解していると思われる。その理由として、嫌な指示の時には、大きく崩れたり、「ダメダメ」「ちがうよ」と言ったりする。
- ・ 人の会話の様子をかなり分かっているようで、自分の嫌な話をされている時に機嫌が悪い時がある。

親の経験では……

「だめ、だめ、だめ」「あ～」と言った禁止の表現は、崩れる原因になりやすいです。しかし、悪いことは、短く「しない」と伝えていることは大事だと感じます。

(2) 言語以外のコミュニケーション

○本人から

- ・ クレーン(一緒に来てもらいたいとき、遊んでほしい時)
- ・ 視線(手助けして欲しい時、遊んでほしい時 じっとこちらを見る。)
- ・ 指差し(車に乗っている時、行きたい方向や場所を指差して教える。)

○こちらから

- ・ 手招きや、指差しは伝わりやすい
- ・ ゼスチャーも伝わりやすい
- ・ 写真や絵カードはより伝わりやすい

(3) 拒否の仕方

○拒否の仕方

脱力、寝転ぶ、大げさに崩れる、ダメダメと言う

こんな時には……

拒否には何かしら必ず原因があります。

- ①生理的な要因によるケース…眠い時、空腹、喉が渴いたなど
- ②本人の要求が強い時、また、本人の予測した見通しと異なる時
- ③どうして泣きはじめたのかなど、崩れた原因が分からない時もかなりありますが……

拒否は、見通しさえつけばかなり少なくなると思います。たとえば、これをやれば楽しいことが待っているなどです。また、以下の事項が効果的です。

- ア. あわてさせない。(必要以上の言葉かけはしない。)
- イ. 写真など視覚的な情報が、有効な時があります。
- ウ. 指示は、短く簡単な方が効果的です。(主語+動詞) ex. 「プール、行きます」
- エ. 1…2…と予定を伝えることも有効です。

2. 着替え

(1) 着替えの様子

- ・ 用意したものを自分で着られる。
- ・ 着替えに時間がかかることが多い。ウロウロしてしまう。…次への見通しが立たない場合、もしくは、余り好まない見通しの場合時間がかかるような気もする。また、一緒にいる人とふざけたい気分の場合もあり。
- ・ 手助けされるのは余り好まない。
- ・ 服を着る順番にこだわりがある。(パンツ→Tシャツ→上着→ズボン)
- ・ 前後ろ、裏表を意識するが間違えることもあり。
- ・ Tシャツ等をズボンの中に入れるのが嫌い
- ・ ズボンが下がり気味になる。「ズボンをあげて」と言うと、自分であげる。
- ・ 靴下はかかとを合わせられない。
- ・ 靴をつぶして履くこともあるが、「かかと」等、言葉掛けで履く。

親は…

- ① 着替えに時間がかかることが多いのですが、なるべく自分でするように工夫しています。まず、服を用意し、着替えるように声をかけ、様子によっては促す言葉掛けをしています。
- ② 暑くても、寒くても、自分で調整をしないので、こちらが調整をしています。

3. 排泄

(1) おしっこ

- ・ 自宅では、自分でトイレに行く。便座を上げるのが難しい。(「あげて」と声をかけている。)
- ・ 外出時は、「おしっこ」というのでトイレに連れて行く。ただし、公園や学校など茂みが周辺にあるとき、過去の経験よりトイレをさがさず自らおしっこをする時もあり。

親は…「トイレでおしっこ」と短く注意します

(2) うんち

- ・ 洋式・和式ともにズボン・靴下を脱ぎ、排便できる。
- ・ 家では、自分でトイレに行く。ウォシュレットを使用し2回トイレットペーパーで拭く。
- ・ 外出時は「うんち」と教えたり、落ち着きがないときに問いかけると教えるのでトイレに連れていく。

親は…完全な自立ではないので見守っています。

不完全な部分は援助しています。(脱いだもののフォローや拭きがあまいことがあるので確認しています)

4. 食事

- 好きなもの ごはん、味噌汁、肉、魚、フライドポテト、牛乳、乳製品、麺類、卵類、しょうゆ、塩味がすき
- 嫌いなもの 野菜（細かくして学校で練習中）

○食べ方

- ・ スプーンとフォークを使う。使い方の違いがわかってきたが、左手をすぐ使いたがる。（手で食べたり、おしこんだり）

親は…

- ①なるべく、見守り自分でたべるように促しています。
- ②こぼした物を拭こうとしたり、「こぼさないように食べようね。」「あーあ」と今の様子を否定的にみた言葉がけやこちらの様子は、マイナスに働きます。
- ③さりげなく介助し、こぼしたものを拾うタイミング、テーブルを拭くタイミングに気をつけています。
- ④機嫌をみて、自分でも拾う、拭くように促しています。

- 外食 ファミリーレストラン、ファーストフード、牛丼屋 が好き。

親は…

- ・ 席は、他のお客さんに迷惑をかけないように、なるべくはじの席にしています。

5. 睡眠

- ・ 平均 11 時から 7 時の 8 時間くらい
- ・ 昼寝をすると、なかなか寝ないので、昼寝をさせないようにしている。
- ・ おねしょは、基本的にしない。

6. 娯楽・好きなこと

(1) 外で

テーマパーク（ディズニーランド、シーパラ）、プール、混んでいない公園や小学校の校庭、高いところでうろうろ、水いたずら

(2) 部屋の中で

パソコン（インターネット）、ビデオ、絵本（動物、キャラクター・アニメ）、光ものおもちゃ

7. 気をつけたいこと

(1) 特徴的な行動や傾向

- ①自分なりのルール、こだわりを持つことが多い。上手く癖がつくと有効、変な癖は困りもの
- ②情報を処理するまでに時間がかかることが多い
（指示され、自分で行動を調整するのに時間がかかることが多い。自分で処理して行動に移そうとしているときに再度指示（多く言葉がけ）されると、泣き崩れたり、怒ることもある。
- ③次の行動に移るの（切り替え）に時間がかかることもある。
- ④慣れない場所や人に対して、初めのうちは不安を抱きやすい(大きな声を出す。落ち着かなくなることもあり)
- ⑤水が好き（水のある場所をみつけると、しばらく見ていたい。ex 川、どぶ、池、・・・）
- ⑥光るもの、等間隔な点滅（ホグライト、信号、）が好き。
- ⑦外出中に自分が興味のあるものを見に行きたがる
（スーパー、デパート、薬局、などにある商業用のビデオ、好きなキャラクターのついた商品、自動販売機（飲みたいときとキャラクターを見たいだけの時とある）

⑧大きな音、嫌いな音（ex.子供の泣き声）がする時に耳をふさぐ

こんなとき親は・・・

嫌いな音や嫌な事から逃れるためにしています。人に迷惑のかかる動作ではないので、見守ってあげています。

(2) 問題行動

①自傷行為（混乱するとひどい時は、自分の顔をたたいたり、体をつねったりしてしまう時がある。）

こんなとき親は・・・

・そうなる前段階で、回避するようにしていますが、そのような状況になってしまった時は、たたいている手を持ってやめさせ、落ち着くのを待ち、こちらは冷静に対処するようにしています。「痛いから、やねようね」と話し、本人の体の緊張にあわせて、こちらの対応を変えます。そして、落ち着いたころ、体の胸部、背中をさする。

②多動（じっとしていることが苦手。室内でも、右往左往としてしまう。）

こんなとき親は・・・

- ・危険な場所は、手をつなぎます。
- ・危険、迷惑になる場合は、「危ない、」といいながら誘導しています。
- ・室内でバタバタされたくないときは、気にしている本を渡すなど、して、気持ちを変えます。（本人が、興味ある物や、出来事を提示する。）
- ・過剰な声かけは、余計に刺激となるので冷静に対応しようとしています。
- ・その場から、移動し、環境を変えます。（これだけでも、静かになることもある。）
- ・誘導に乗らない時は、無理強いしないで様子を見ます。

③大きな声を出す（注意された時、自分の思いどおりにならない時、生理的につらい時 ex.眠い時、疲れている時・・・）

こんなとき親は・・・

- ・本人の気が外に移るよう興味のあるものを渡したり、すすめたりする。
- ・「シー」のサインをします。（口に指をあてて）
- ・小さな声で「しずかにしようね」と言います。

8. 健康

- ・ 0歳から3歳にかけて、てんかん、喘息で大変でしたが、今は元気。
- ・ 気になると言えば、ダイエット、乾燥肌。

親の気持ち

- 丸く成長して行って欲しいと思います。
- 認知があがり、指示に従えたり、できることが増えたりすることも大変うれしいことですが、人と係ろうとする力がめばえてくるのが、この上ない喜びです。
家庭ではできない（しにくい）部分のご指導とご支援、いただければ幸いです。

親子ともどもよろしくお願いします。

以下必要に応じ渡すもの

○てんかん

- ① 抗てんかん剤としてデパケンシロップを 6ml/日服用
- ② 但し、2歳以降発作なし。生活状支障なし。

○ぜんそく

- ① 非アレルギー性のぜんそくで、2歳まで発作を起していたが、3歳以降発作なし。
- ② 現在は予防薬等もなく生活に支障なし。

○肥満

- ① 要ダイエット

・体重が増えないように心がけている。

■通院病院

- ・神奈川県立こども医療センター（神経内科・山下医師）
てんかんの経過観察のため3ヶ月に1度程度通院
- ・横浜南共済病院 小児科・喘息外来
ぜんそくの経過観察のため2ヶ月に1度程度通院
- ・よこはま発達クリニック 吉田友子医師
発達チェック、年に1度 PEP-R 検査 等

今までヘルパーさんなどの支援をうけるにあたり、子供が小さかったこと、また、どこまで自閉症の理解をしてくれているのかなどの不安があり、預ける勇気がありませんでした。しかし、将来的なことを考えると、そろそろ親や先生以外の人にも小さい頃から慣れていく必要があると思いました。学校の先生との面談の中でも話題になり、サポートブックは有効と助言をいただき、私も、以前より関心があったので、人に預ける勇気の後押しになればとサポートブックを作成してみました。

作成後、初めて使用したのが地域の大学生によるサマースクールの参加の際でした。事前の面談の時にも活用しながら話ができて、また短い時間ですませられ作って良かったと思いました。学生さんからも「様子がよくわかり、ありがたいです！」との意見もいただきました。その後、支援事業所の方との面談の際にも役立ちました。

但し、実際に遊びに連れって行って頂いたときには、このサポートブックに付け加え、写真と文字で表した1日のスケジュールを用意したり、細かな場面でどの位の支援が必要なのか？どの位自立しているのか？などを言葉で伝える必要がありました。このように、まだまだ改良していく点が多々あると感じています。今後、支援者さんの意見などをとりいれながら、もっと便利なサポートブックにしていきたいと思っています。